



令和8年の年頭に当たり、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

はじめに、昨年1年間、市政運営に対し格別のご理解とご協力を賜りました市民の皆さまに、心より感謝申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、2月末に大規模な林野火災が発生し、尊い人命が失われるとともに、多くの建物や山林などが被害を受け、暮らしや産業に大きな影響を及ぼしました。被災された皆さまに衷心からお見舞い申し上げるとともに、今なお復旧・復興にご尽力いただいている多くの皆さまに深く感謝申し上げます。

市といたしましては、大規模林野火災からの復旧・復興の組方針である「暮らしの再建、なりわいの再生」「森林の復旧等」「火災予防の強化」を念頭に、鋭意取り組みを進めているところであります。

また、重点施策として掲げております「地場企業の振興」「子ども・子育て支援の充実」につ

きましては、4月に保育料の完全無償化を実現したほか、5月には市民の暮らしと市内事業者を応援するため「大船渡市プレミアム付商品券」を発行するなど、さまざまな取り組みを進めてまいりました。

迎えた令和8年は、東日本大震災や新型コロナウイルス感染症の影響により2度中止となっていた「全国樺サミット大船渡大会」が、いよいよ3月に開催されます。市外から訪れる多くの皆さまに、本市ならではの食や産業、文化などの魅力を存分に味わっていただけるよう、おもてなしの心を大切にしながら、万全の準備を進めてまいります。

一方で、私たちの生活を取り巻く環境は、物価高騰に加えて、働き方や暮らし方が大きく変化しています。これまでの取り組みの中で見えてきた課題を踏まえ、産業振興および子育て支援を図るとともに、若者が活躍できる場の提供や農林水産業などの担い手の育成といった「まち

の若返り」をキーワードに、多様な挑戦を後押しする姿勢を大切にしながら、将来世代に誇れる大船渡をつくるための新たな一歩を踏み出す一年にしていきたいと思います。

今年の干支「午<sup>うま</sup>」は、人々の暮らしに寄り添いながら長い道のりを共に歩んできた存在として「躍動」「発展」そして「前へ進む力」の象徴とされています。大規模林野火災からの復旧・復興という長期的な課題に向き合いつつ、市民の皆さまが安心して働き、家庭を築き「このまちで子どもを育てたい」「このまちで一生暮らしたい」と思っていたような、持続可能なまちづくりをより一層進めてまいります。

結びに、本年が皆さまにとりまして、幸多き素晴らしい一年となりますよう心から祈念申し上げます。年頭のあいさつといたします。

大船渡市長  
渕上 清



1月 三陸・大船渡第28回つばきまつり開催



2月 大規模林野火災発生



3月 東日本大震災犠牲者追悼献花



4月 全国トップ切り綾里小入学式



5月 DACCO来場者5万人達成セレモニー



6月 楽天イーグルス野球教室

## 大船渡の2025年を振り返る



7月 ケセンロックフェスティバル2025



8月 三陸・大船渡夏まつり



9月 サンマ水揚げ



10月 分野別座談会「おおふなとーくルーム」



11月 大船渡市民俗芸能継承フェスティバル



12月 おおふなとの灯